



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成7年8月1日現在)

総人口23,487人 (30)	出生 18人
男 10,954人 (5)	死亡 17人
女 12,533人 (25)	転入 159人
世帯数 8,672 (15)	転出 130人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

雄々しき

郷田瀑^{げうた}

県道を小山村にのぼる中野
橋の右手前にある。日木山川
の上流で、水源は溝辺の釈迦

の別府にさかのぼる。

滝は意外に小さく、その様

相は晴れやかな龍門滝とは違

い、自らを律するように生い

茂る葉影に隠れ、県道からそ

の身をとぎしている。

だが実に威勢がいい。豪快

に水しぶきをはね、深い静寂

の空間に確かな旋律を刻み、
盛んに自分を誇示している。

人知れず、たくましくきら

めく自然の雄々しき――。

「あなたも自信を持って……」

そこに立つと、何かしら、

滝に勇気づけられ、ふつと

と自信がわいてくるようだ。



滝の脈打つ鼓動になぜかふるい立つものが……

平成7年

今月のページ

★参議院議員通常選挙…2ページ ☆かじきの戦後史…3
ページ ☆ふるさとあれこれ…4ページ 夏まつり…5ページ
☆まちの話題…6ページ～7ページ ☆アンの目…8ページ ☆加治
木文化財ウォッチング…9ページ ☆おしらせ…10ページ

8

月号

●No. 490

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

投票率は下降線

47・72パーセント

参議院議員通常選挙

参議院議員通常選挙は七月二十三日、町内十五か所の投票所で鹿児島選挙区と比例代表区の投票がそれぞれ一斉に行われました。

投票率は、折からの台風三号の影響と棄権者が多かったため、各投票所は軒並みダウン、最終投票率は47・72%と低数値を記録しましたが、このうち最も高かった投票所は旧鎮守小学校(67・10%)で、最も低かった投票所は西浦公民館(40・14%)でした。

この結果、国の44・52%をわずかにしのいだものの、県の51・20%には及ばず、今後の選挙のあり方に大きな波紋を投じた結果に終わりました。

当日の有権者数 一七、五三〇人

うち男

女

当日の投票数 八、〇三三人

平成元年投票率 八、四九七人

平成四年投票率 八、三六五人

平成元年投票率 70・89%

平成四年投票率 59・12%

※数値はすべて選挙区

投票所別投票率

区	投票場所	投票率(%)
1	加治木中学校	43.83
2	町営体育館	53.79
3	福祉センター	51.37
4	性応寺	47.16
5	錦江小学校	43.14
6	岩原公民館	49.72
7	豊町公民館	44.53
8	加治木小学校	44.48
9	永原小学校	50.58
10	ひなば公民館	56.60
11	旧鎮守小学校	67.10
12	西浦公民館	40.14
13	川内公民館	56.17
14	小山田大字公民館	50.38
15	旧中野小学校	42.34
	平均	47.72



▼投票率44・52%
これが国会議員の選挙かと思うと、実になげかわしいかぎりである。

何と国民の半数以上がソッポを向いたのだから――。
さて今回の参議院選は、全国的に大型の「白け鳥」に襲われた感があるが、その白け鳥はわが加治木にも飛来し、47・72%という低投票率の汚点を残して飛び立った。立つ鳥後を濁さずというが、その格言をも白けさせてしまった。

加治木での参議院選は、平成元年が70・89%、平成四年が59・12%、今回が47・72%と、選挙を行うたびに有権者を遠ざけている結果が出ているが、ちなみに今回を下回る各種選挙の過去のデータは、昭和22年の参議補欠選(39・14%)、平成2年の町長選(43・72%)、平成6年の町長選(47・43%)となっており、特に町長選は、勢力拮抗の候補者が出なかったことがその原因と思われる。

さて、今回の低投票率の原因を簡単に振り返ってみよう。
政治家や政党への不信感はあることながら、選挙制度や議会制度にも問題はないだろうか。参議院議員の制度そのものが

参議選を切る!

あなたは選挙に行きましたか

一人一人の自覚が大事

よく分からない。およそ国民の知るところでは、立候補資格三十歳、任期六年、定数二百五十人、その定数の半数が三年おきに選挙(ここが分からない、なぜ半数を入れ替えるのか?)するということなどである。

そしてその役目はというと、国家予算やいろいろな法律などの審議をすることは分かるが、理解しえないのは、参議院で可決しても衆議院で否決されたら廃案、また参議院で否決されても衆議院で可決されたら成立するということである。

「ええ、では参議院はなぜあるの?」

とこうなるのだが、それを知るため学校の教科書まで開く人はそういない。ちなみに、参議院は衆議院の独走に歯止めをかける役目を負っているが、これが民主議会の二院制である。

ここで改めて、衆議院と参議院の違いや、参議院の役目などをしっかり国民に周知させることが必要ではないだろうか。今さらそんなことをためらっているときではないだろう。

また、選挙はあくまで個人の意思に左右されるもので、義務と権利はあるが、決して強制的ではない。民主的と言えば民主的だが、そこに落とし穴もあるようだ。そうしたなか、無関心者層に対する教育、指導が非常に大切で、『自分の信じる人に投票する』という選挙に対する基本的な心構えを培わなければならない。

このたびの選挙結果を、国民の選挙制度に対する審判と受け取り、このような非常事態を迎えたことを反省するとともに、選挙や政治について、改めて根本から考え直す必要がある。このままでは、今後の衆議選や地方選にまで悪影響を及ぼす可能性があり、ことは国家の大事につながる。

「一人一人の自覚」

これが一番大事なことで、そのためには一体どういう対策をとればよいか。これがこれからの最優先課題であろう。

ところで、あなたは今度の選挙に行きましたか?

かじきの 戦後史(2)

吉祥寺墓地に眠る 加治木港引揚げの死没者

加治木港は、終戦後間もなく全国十一か所に設けられた引揚げ港の一つであった。

昭和二十年十月二十九日から十二月八日までの間、毎日のように南方諸地域や中国大陸からの復員軍人、一般邦人が木田新田の通称「三の水門」付近の海岸堤防に設置された仮棧橋から上陸、万感の思いで故国の地を踏んだ。その数は実に二万六千七百八十余人にも達した。

引揚げ者のうち、南西諸島方面の出身者は当時、帰郷もままならぬ事情にあり、加治木療養所(現・南九州病院)や錦江小、建昌小、帖佐小、重富小などに収容された。だが不幸にして、この中から栄養失調やマラリヤなどによる多くの死者がでた。これらを含む死者の数は三百十九名。

死者の多くは、フィリピンのダバオから引き揚げてきた沖縄県出身の一般邦人であった。今年六月二十三日、沖縄県では永久の平和を願う「平和の礎」を建立したが、これに伴う調査のなかで、加治木港上陸後、加治

木方面で死亡したと推定できる者百三十人。そのうち十九歳未満が百名、さらにそのうち八十四名が十歳未満の子どもであることが判明した。戦争は弱いもの幼いものにより多くの犠牲を強いたことがわかる。

三百十九名の遺体は、加治木療養所や帖佐療養所に埋葬されていたが、遺族に引き取られなかった約二百体の遺骨は、加治木療養所で結核で亡くなり同療養所内の墓地に埋葬されていた人々の遺骨とともに、その後、錦江小学校裏の吉祥寺墓地の一角に改葬された。自然石の墓石には「魂」の一字のみが刻まれている。

今年二月、来町した沖縄県金武町の町長などの一行を通じ、加治木にこれら沖縄県出身者を含む引揚げ者の墓があること、加えて、加治木町内の有志が十月末にその墓に葬られている無名の人々の慰霊祭を行いたいと願っているとのことが、広く沖縄の新聞で紹介された。

この記事により、沖縄の比嘉貞子さんはこの五十年間気にし

身ひとつでも生きて帰れただけで幸せ。主に南方からの受入港・鹿児島は遺骨の帰還が多くその数3万余(20年11月18日・加治木港)



(毎日新聞社提供)

てきた妹の墓の所在が判明したことを喜び、今年五月加治木町を訪れた。比嘉さんは引揚げ関係の各所を回り、吉祥寺墓地で五十年ぶりに妹さんの眠る墓と対面。涙ながらに当時の妹さんの面影をしのび、沖縄の儀式で鎮魂の供養をされた。妹さんは戦後五十年にして、初めて安息の眠りにつけたことであろう。

町としては、これまで毎年暮れに法要を営んではきている。しかし、これら無名の死没者はこの五十年間、遺族にも墓の存在すら知られることなく、何の叫び声をもあげることもなく、ただひたすら遺族や有縁無縁の

みなさまの
ご協力を!

加治木港引揚げ死没者の
慰霊祭実施に伴う
募金のお知らせ

慰霊祭10月29日

慰霊祭実行委員会

今年は戦後五十年の節目に当たり、各地で第二次世界大戦がいかなる戦争であったかを振り返り、国の内外の多くの戦争犠牲者に思いをはせ、改めて命の尊さ、平和の大切さを確認するための記念行事が催されています。

わが加治木町には、広報かじきの『加治木の戦後史(2)』にもありますように、錦江小学校裏の吉祥寺墓地の一角に、加治木に上陸しながらかも死没された引揚げ者の方々の墓が、人知れずひっそりと建っています。二百名を越す人々の名前は、今となつては明確にすることは困難です。この人々にとつては、五十年間、時間は止まったままです。

当時、食べるものが何よりも難しかった状況にもかかわらず、引

加治木町民による供養を待って
いたに違いない。

今年十月二十九日、引揚げ船入港五十周年の日、慰霊祭を挙行しようという町内有志の動きがあり、沖縄県からも遺族の参加が予定されているという。

揚者にやさしく接してくださった町民がいらしたことは心の救いとなります。とは言うものの、多くの町民にとつては自分のことが精一杯で、死に瀕している人々にこれといったこともしてあげられなかったというのが実情でした。

今年は引揚げ船の加治木入港五十年に当たります。そこで、ご遺族や多くの町民の方々にご臨席いただいて、悲運の引揚げ死没者の冥福をお祈りしたいと、ここに町内の有志が集い、慰霊祭実行委員会を結成いたしました。

つきましては、出費多端の折りではございますが、慰霊祭の実施や墓の由来を記す石碑の建立などの費用にご支援を賜りますれば幸甚に存じます。

自治会を通じて、町民の皆様へご寄付をお願い致す計画をたてています。その節はよろしくお願い申し上げます。

□慰霊祭実行委員会

委員長

下 猶 篤 男

副委員長

武田信雄・松田弘治

事務局長

川 崎 兼 孝

委員▽戎倉男▽岡山秀樹▽白尾春樹▽永井和則▽西迫雅子▽林敏克▽松田繁美▽宮路義和

「山元窯跡」の発掘調査報告書

本にまとまる

一冊三千円

教育委員会

龍門司焼の創始者、山元碗右衛門が龍門司に移る前に開いた「山元窯跡」の発掘調査の報告書が出来上がり、このほど一冊の本にまとめられました。

報告書は、薩摩焼のルーツを探る手掛かりにもなる貴重なもので、出土した皿や茶碗、鉢などのカラー写真を多く取り入れた百十七ページ、A4判の本。朝鮮役で連れて来られた陶工や薩摩焼の歴史などにも触れており、日本史を学ぶ上でもよい教材です。欲しい方は教育委員会までお申し込みください。

一冊 三千円で販売



避難用に毛布を寄贈

“災害時の避難用に使ってください”
と岩下吉廣（山藤建設株式会社）さんが七月五日、町に毛布六十枚を寄贈されました。

ありがとうございました。



それぞれの思いを胸に

塩入地区の旧公民館跡に記念碑が建立され七月二十一日、その除幕式が行われました。
現在、塩入地区公民館は、旧公民館跡の塩入川沿い少し上流の東側に、近代的で瀟洒な姿を誇るように建っていますが、元の公民館は、塩入川河川敷を埋め立て建てられていたもので、この地区に住む人々にとっては決して忘れられない思い出の場所になっています。

ふるさとあれこれ

記念碑を建立

若い頃の拠り所だった...

塩入地区青年倶楽部跡

（元の地区公民館）

除幕式の綱を引いた塩入地区の長老、向江利治さん（八十二歳）は、「昭和六年ごろ、町内で放火騒ぎが続き、塩入青年団でこの地区の夜警に当たることになり、昔の塩入川河川敷は広がったので、ここにカラン（竹で編んだ堰）をして青年小屋を建てて夜回りしたものだ。若い頃の拠り所で、なつかしい」と感慨深げに昔を振り返る。

その後、ここは塩入地区の集いの場として歩みはじめ、昭和十二年、地区民に寄付金を募って瓦葺きの家を建設し、塩入青年倶楽部の看板を掲げました。青年団はもちろん、青少年修練の場として、また婦人会や各種団体の憩いの場として、さらには戦時中のいろいろな寄り合い場所として活躍しましたが、昭和二十六年十月、あの強烈なルース台風で、長年の歴史とともに無惨にも倒壊してしまいました。それから公民館は、二十年間あまり他の土地を借りていましたが、手狭なために昭和四十

七年、元の青年倶楽部跡（河川敷）に建てられました。だがそれも束の間、平成四年に塩入川改修工事のために現在の場所に移された経緯があります。
このほど、当時をしのび、そのよき思い出を後世に伝えようと、塩入地区公民館（永井和則館長）で建設委員会を結成し、地区民から六十万円の浄財を募り、立派な石碑が建立されました。
この日、大人に混じって除幕式の綱を引いた子供代表の立元淳子さん（小三）は、「あまり前のことは分からないけど、大事にしていきたい」と明るく宣言してくれました。彼女らには近くに真新しい公民館があります。そこで、この石碑の語るところを深く胸に刻み、新たな歴史を築いてほしいものです。



現在の地区公民館

おおぜい繰り出す

外国人も参加

夏まつり大会

第二十九回夏まつり大会は八月六日開催され、昼のパレードと夜の花火大会におおぜいの人が繰り出し、この日加治木は祭一色に燃え立っていました。

みこしパレードや踊りの会場となった昼の蒲生田通りは約一万人の人の帯ができ、さながら天の川をのぼる巨大ウナギ。とくに今年は、役場職員の行列にアンさん率いる十三人の外国人が参加し、その一つひとつのユーモラスな踊りに観衆は大喜びで、踊るアホウに見るアホウともども、汗だくになりながら炎天下のお祭気分を楽しんでいました。

また夜の部は、女優の叶和貴子ショーと花火大会で祭は最高潮に盛り上がり、広い加治木港は三万人あまりの人で埋め尽くされ、夜空に映し出される大パノラマのひとコマひとコマに大歓声が渦巻いていました。

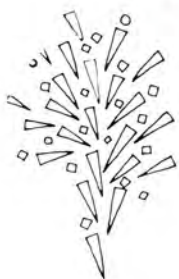
□みこしコンテスト成績

〔幼児の部〕

金賞 かずみ保育園

〔子供の部〕

金賞 永原小子供会



弓道団体で全国制覇!!

四年ぶり四度目

加治木工業男子

平成七年度全国高校総体（インタハイ・山口県）で加治木工業高校弓道男子が四年ぶり四度目の優勝を果たし、八月五日夜JR加治木駅に凱旋、出迎えた父兄や住民らに祝福されました。

今や弓道といえば、加治木工業と加治木高校が交互に全国大会を制覇するなど、高校の部では鹿児島県加治木町のオハコ。工業高校

にとっても女子を含めるとインタハイ五回目の全国制覇。名門の看板を背に、プレッシャーと闘いながら一戦ごとに力をつけ、五人全員が皆中を記録するなど優勝に花を添え、有馬純隆監督も「まさか優勝するとは……」と武者震いするほど。翌六日、夏祭のパレードにも特別参加し、堂々と行進して住民らに優勝の報告をしました。



夏まつりのパレードでV報告

キス重量賞は宮原和男さん

観光キス釣り大会

第二十三回加治木町観光キス釣り大会は七月三十日行われ、参加した百四十八人は二十四艘の船で早朝五時に出港し、それぞれ自慢の腕を競いました。

〔成績〕

キス重量賞 三、〇二〇[㍉]

宮原和男 加治木町

キス大物賞 二二〇[㍉]

白崎義則 牧園町

アメ重量賞 三、七九〇[㍉]

福永信夫 加治木町

少年の部 九四〇[㍉]

松崎俊樹 鹿児島市

女性の部 一、一〇〇[㍉]

遠藤かおり 始良町

敬老男子の部（七十二歳）



もちょっと目方がかからんや

外山正次 蒲生町
敬老女性の部（七十歳）
渡辺雅恵 始良町

勲六等単光旭日章を受賞

故・猪俣信男さん

元町議の故・猪俣信男さんが勲六等単光旭日章を受賞され七月十日、宇都宮町長から夫人の猪俣島さんに伝達されました。

〔プロフィール〕

昭和三十八年五月、加治木町農協理事に就任、その後は監事も歴任し、同四十一年五月、西始良地区農業共同組合理事協議会々長、監事を経て、同五十年五月、町議に初当選。以来、連続四期十六年の間、町と地域住民とのパイプ役として活躍するかたわら、町監査委員もつとめるなど地方自治の発展に寄与。



宇都宮町長から夫人に伝達



何事も一生けんめいです

炎天下で熱い戦い

消防記念日

「消防記念日」の八月一日、町内六分団が参加して町営運動場で記念行事が行われました。

住民の命と財産を守るため、日夜活躍している消防団員のみならず、この日は、整列した姿

もたのめしく、昇格者の辞令交付などの後、炎天下のもと、操法大会と隔年ごとに行われるソフトボール大会に熱い血をたぎらせまし

西別府分団 分団長 鶴 幸男

副分団長 今吉 亨

部 長 西村 勝

班 長 内村重義

班 長 上枝市郎

錦江分団 団員 橋口純隆

たが、錦江分団がみごと優勝して郡大会に駒をすすめました。

□昇格者

西別府分団 分団長 鶴 幸男

副分団長 今吉 亨

部 長 西村 勝

班 長 内村重義

班 長 上枝市郎

錦江分団 団員 橋口純隆

ウナギ二十キを放流

網掛川 漁協



来年は大きくなっています

網掛川内水面漁協（東一男組合長）では七月二十八日、ウナギの稚魚二十キを小山田川、辺川、龍門滝、網掛川にそれぞれ放流しました。

ウナギは、昔から夏バテ防止に最高と重宝がられてきた貴重なカロリー源。しかし、ちかごろは川に入って自分で捕る人も少なくなり、専らスーパのバック詰め物に頼る有り様で、生きたウナギを見たこともない人もいますということです。

どうです。たまには子ども連れでウナギ捕りなどは……。

マダイとヒラメを放流

小学生と留学生も参加

錦海漁協

〃錦江湾を魚の宝庫にしよう〃と錦海漁協（松田繁美組合長）ではマダイを七月十八日、ヒラメを七月二十二日、それぞれ加治木港沖に放流しました。

マダイは県のパイロット事業で五万尾、ヒラメは加治木町と始良町の単独事業で両町合わせて一万尾を放流しましたが、特にヒラメの放流には、柅城小学校の児童と

からいも交流で町内にホームステイしている外国人留学生三人も参加し、洋上で楽しいひとときを過ごしました。

釣り好きのみなさん、マダイは三年で約一キ、四、五年で五、六キ級になるそうです。外海だけ出掛けないで、たまには錦江湾のタイ釣りにチャレンジしてみませんか。



留学生も放流(ヒラメ)



椋鳩十文学記念館の広場で

満天の星空のもと

感動あり涙あり

星空映画シアター

椋鳩十文学記念館では七月二十一日から二十三日の三日間、満天の星空のもと、おおぜいの子どもたちが映画を楽しみました。

これは、加治木町親子映画会（本山美江子会長）が夏休みを利用して、子どもたちにアニメや童話などのおもしろい映画を楽しんでも

らおうと計画した「星空映画シアター」で、椋鳩十文学記念館の芝生の広場はおおぜいの親子連れであふれ、訪れた人は三日間で延べ二百四十五人。子どもたちは暑さも忘れ、大画面の映画の主人公になりきって、その場面場面に一喜一優していました。

赤樫の杖を寄贈

霧島町の吉富久寛さん

〃福祉に役立ててください〃と霧島町の吉富久寛さんが七月十四日加治木町役場を訪れ、杖を三十本寄贈されました。

吉富さんは、霧島神宮の近くで「霧島そば屋」を経営するかわら、杖や木刀などを造っている方で、「父は霧島町で母（後村エミ子さん）が加治木町です。これまでいろいろ福祉でお世話になりましたので、今回行政にそのお返しをしたいと思ひまして」と自慢の手作りの杖を手渡しました。

吉富さんの両親にとっては寄付行為そのものより、自分たちのことを思っていてくれる息子の孝心に感激されたことでしょう。材質は木刀用の赤樫で、市販す



丈夫な杖です

れば千五百円ほどのことです。ありがとうございました。

アンのEYE・アイ・

加治木での一年間を振り返って



残暑の厳しい頃ですが、皆様お健やかにお過ごしのことと思います。私が加治木に来て国際交流員として仕事を始めて、今振り返って見るとあっという間の一年でした。国際交流員と聞くと、何か一歩後ずさりするような、手の届かないような仕事をすると考えてはいませんか？いいえ、加治木にいる間の、私の仕事の目的は草の根の国際交流です。子供達からお年寄りまで、出来る限り多くの方々と会ったり話し合っ、視野を広めるため外国から日本にやって来る人を温かく受け入れる心構え等について、よく

理解してもらえるようにこれからも一生懸命頑張っていきます。

しかし、皆さんの外国人に対する感覚がどれくらい変わったか私には分かりません。私生活においては、大成功と言えるほど目標を達成することが出来ました。たくさんの日本人と外国人の友人ができました。加治木を去っても、私の永遠の宝物となる経験は数えきれないほどできました。

最近、気が付いた事は、外国人と聞くと幾分か敬遠しがちな他の日本人に比べ、加治木の人達はいま私を“外国人”として見るのではなく、加治木に住む“社会の一員”として接するようになったことです。しかし、あいにく、九州に着いたばかりの宇宙人として見る人もまだいるようで、例えば子供達に“ハロー外人”と指をさされてからかわれた時などは、子供達やその子供達を教育していない親の方に私の力が十分及んでいないことを感じることもあります。

私は職場でたくさんの人の足を引っ張りながら仕事をしてきました。周りの人のそれぞれの仕事の意義や優先度など十分に理解していないし、まだ完璧に日本語が出来なく、一人では多くの仕事が出来ないので、とても忙しい私の同僚の職員は、私が企画した大きなプロジェクトを手伝わなければなりません。ですから二週間前行われた「国際夏の祭典イン加治木」という事業を手伝って下さった方々にとても感謝しています。

一般的に言えば、周りの日本人職員にとって当然で簡単に出来ることも、一年たっても、まだ私にとっては何倍もの時間がかかります。かなり精神的・肉体的に疲れる毎日です。外国人職員の苦労や悩みに気付き、親切に、辛抱強く手伝ってくれたり、人間同士として、ことばと文化の違いを超えてコミュニケーションをしようと努力して下さった方々にとても感謝しています。

幸いにも、私は、最近何回も町内の幼稚園や保育園を訪問する機会がありました。あまりにも幼い年齢だから、子供達には私は初めて目にする外国人であったことでしょう。子供達は最初の瞬間、違った格好の人を見てびっくりしていますが、クラスに入って挨拶や質問すると、にぎやかな笑い声で、明るく元気な返事が合唱で返ってきます。訪問した時、私達は一緒にゲームをしたり、歌を歌ったり、アイルランドについて話したり、スポーツをしたりします。恥ずかしがりやの大人と逆に、子供達は熱心に私としゃべったり交流したりします。私のスケジュールが全部済むと、子供はいつも私のところに駆けよってきて、ひざの上に座り、温かく“さよなら”と言います。役場に帰ってくるといつも気分がよくて“まあ、保育園、幼稚園の訪問は本当に命の洗濯になる”と国際化は小さなことから始まると考えるようになりました。

しかし、国際化を推進するのに一番の障害は「無関心」ということです。わたしには関係ないという考え方がまだ多いようです。世界平和を目的にしているからこそ国際交流は皆さんに関係があると思いませんか？

皆さん、これからも国際交流がますます進展しますようにお互いに頑張りましょう!!

棕鳩十の生涯

風のごとく

生駒忠一郎

〈KTC中央出版一、五〇〇円〉

伊那谷の朝は遅い。

天竜川の西にそびえる中央アルプスの雪峰が金色に浮かび、

台地の里の村々に朝陽があたる

ころ、雑木林を包んでいた朝も

やがようやく動き始める。
今日も彦穂は、ばばさまの囲炉裏の部屋で目がさめた。

この文は「風のごとく」の冒頭に書かれた文である。

著者、生駒忠一郎氏は、一九三八年生。龍谷大学文学部卒業。日本放送作家協会々員。

著書……「名古屋歴史散歩」

「炎の軌跡」「帰雲城燃え」など歴史ものが多い。

棕鳩十と著者との縁は、昭和五十一年にはじまっている。従って生前十年と少々縁であるが、家族同志の付き合いにまで発展した。

先生が亡くなられてあと十年近く、棕鳩十の人と文学の研究は年一年と深まっていた。

もくじ

- 雪の囲炉裏部屋
- 薄明かりの町
- ハイジの夕焼け

●感動の出会い

●猷たちの異次元の世界

●またたく星の群れ

●がんこさの美しさ

●義兄と新婚旅行

●種子島ふんどし事件

●漂泊の山窩の世界

●夕霧に沈むふさと

（以下省略）

著者生駒氏は名古屋の人である。長野県飯田市をはじめ伊那地方はわりと近い。

生駒氏は、相当な年月をかけて、棕鳩十の生い立ちの地を訪

れている。それらの山や川、大

自然の中に棕鳩十が融合してい

る。

棕鳩十は、昭和五年以降亡くなるまで鹿兒島の地に住んだが、

魂のふるさととは、伊那谷の自然

とともにあった。そのことを生

駒氏は、「風のごとく」の著書

を通して、語り続けているよう

に思われてならない。

人の生涯は、感動と敬虔である。大自然への畏敬の念と、人

との出会いの尊さを、至上の宝

として生き続けた棕鳩十の生涯

は広大と申すほかはない。

（棕鳩十文学記館館長 榎園高雄）

加治木文化財ウオッチング (27)

御里窯を発掘調査

「御里窯」は、島津十七代当

主義弘が慶長十二年に平松から

加治木に移ったとき、帖佐から

連れてきた名陶工・金海に造ら

せた御庭窯です。庶民の使う民

窯としてではなく、専ら義弘愛

用の茶の湯道具を造らせた窯と

いわれています。

窯のあった場所は、加治木島

津館の敷地内、義弘が住んでいた西丸御殿から北西に当たるお

花園や薬草園の地続きのお里と

いう字名の所にあり、現在の白

尾園利さん宅敷地内の孟宗竹林

内にあります。

この付近は昔から「ツンボ

カシタ」と呼ばれた場所です、

これは窯を意味する「壺頭」

が転じたものです。

金海は、義弘が太閤秀吉の

朝鮮役に参戦した折、朝鮮国

から連れてきた陶工の一人で、

中でも最もすぐれた技術者で

した。金海は帖佐時代、日本

の茶道を学ぶために名古屋の

瀬戸で五年間修行し、帰って

くると宇都城の北西にある宇

都窯で、千利休の直弟子である

義弘のためにその腕をふる

いました。古帖佐焼といわれ

るゆえんです。

その後、金海は義弘に従い加治

木に移りますが、この時、山元窯

や龍門司焼の創始に関係する芳仲

は日本山の龍ノ口に窯を築いてい

ます。

金海の古帖佐焼は有名で、ここ

で焼かれたものは薩摩焼の優品の

筆頭にあげられており、東京国立

博物館などに収蔵され、その多く

は茶器です。そのなかに「火計（ば

かり）」という茶碗があります、

それは原料となる粘土は朝鮮から

取り寄せ、地元では焚き物だけ、

つまり火ばかりを使ったからだ

と伝えられています。

御里窯は町指定文化財で、今

回の発掘調査の目的の一つは、

その所在を明確にすることにあ

ります。

われわれには、すば

らしい薩摩焼の歴史を築いた往

年の陶工らの、ひたすらめざし

た真の芸術の深さとそれに託し

た大いなる夢を、この目で確か

めて継承していく責務がありま

す。歴史に学び、歴史を創ると

いう責務が……。

ご存じですか？ 介護支援センター

お年寄りのことなら
何でもおまかせください。

相談は無料です。まずお電話ください。

相談員と看護婦が相談にうかがいます。

- 在宅介護の相談
- ホームヘルパー派遣
- 介護用品の紹介や使用方法等の助言
- デイサービス事業
- ショートステイ事業
- 福祉サービスの申請や手続き



加治木町在宅介護支援センター
☎62-3553(加治木望岳園内)



紫蘇染みし手を氣遣ひつ便り受く 竹山 洋子
夏蛙鳴いて夕星目を醒ます 白尾 澄子
戦死者名きざむる碑や鳥灼くる 園田 千秋
エスカレータ足より見えて子の帰 神村 洋子
省 柳田 稔
おしほりを両手で包む梅雨の宿 萩之内幸子
爺婆の田植は棚田手で植うる 加藤 白柳
足弱を隊の先頭山開き 古江 重美
緑陰に染まる体育見学者 川崎 黒鬼
背伸びして雨に重たき花ぎぼし 稲恒やすお
梅雨晴間唄ながれるひばりの忌 恒吉 斗南
垣根越し苗のやり取り梅雨晴れ間 岩田美知江
火葬場やくちなしの花雨煙る 高木 正男

きつま狂句

天 政権で 墓穴つば掘った 社会党
唱 日和見主義で 信念が無で (今村牝牛)
地 加久藤を 掘り抜つ 繋ねだ 縦貫道
唱 薩摩日向も 発展しもそ (市成早乙女)
人 新甘藷 掘いかた家内で 値を積つ
唱 びつくいすいよな 値が付つが (佐藤蔵王嶽)

親子映画鑑賞会

〔福祉センター〕
日時 9月9日(土) 2時
映画 ①いねむりブーちゃん
②うれしい時にも涙がでる
〔樟鳩十文学記念館自由の館〕
日時 9月24日(日) 10時

映画 ①白いサメ(樟作品)
ほかアニメ二作
主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更する
ことがあります。)

うぶ声



出生児 脇 まこ 保護者 自治会
美座 真 和則 原ノ門
藤浦 大將 和幸 高井田
有村 圭貴 光一 春日団地
村田 隆美 俊満 吉原
森 明日香 秀治 空港団地
川崎 啓之 和人 永山
上野 健太 貞広 葛浦谷
下枝 侑史 浩文 原ノ門
川添 彩乃 健一 赤坂
西塩入上

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきまし
た。厚く御礼申し上げ
ますとともに、故人の
ごめい福をお祈りいた
します。(一)内は故人

上本美菜里 道夫 西江口団地
渡辺 悠人 末広 春日団地
上井 響 幸治 吉原
河原 誠太 誠 須崎
萩原 幹樹 親義 原ノ門
末永 愛 廣孝 上浜
川村 美咲 健一 天神
▽七月二十日までに住民台帳に記
載された分を掲載いたしました。

平成7年 9月在宅医表

3	徳永医院	内科・小児科・皮膚科 溝辺町麓1009 ☎58-2302
10	壺岐内科	内科・小児科・循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222
15	大井病院	外科・内科 加治木町本町141 ☎63-2291
17	ザ王病院	内科・胃腸科・循環器科 加治木町反土2151-1 ☎62-4611
23	松本外科	外科・胃腸科 加治木町木田724 ☎63-1911
24	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328

※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。
日曜・祝日 歯科救急診療 10時～15時 郡歯科医師会館
口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)

社会福祉協議会へ

三万円 辺川下 大宮路鶴美(父篤男八五)
三万円 西浦西 岩澤 一(妻 初子七五)
五万円 毛上 猪俣 島(夫 信男八三)
三万円 新中 小野田スミ子(夫市二八三)
五万円 今町 小濱ミチ子(母アイ九三)
三万円 蔵王団地 白濱エミ子 (母 黒木春江八八)
五万円 須崎 白濱セツ子(夫隆雄六五)
三万円 須崎 荻野澄雄(妻ミチ子七)
三万円 於里 川添繁美(父 重利七〇)
五万円 中福良後 岩穴口優(母エイ八八)
二万円 赤谷 地久里シヅ子(夫清吉八八)
一万円 明神 野下純三(長男 傑二)
五万円 小鳥 原口道子(夫 英世六七)
三万円 下浜 佐々木百合子(夫淳雄六九)
二万円 楠園 中玉利ハツノ(夫末吉七五)
二万円 老人クラブ連合会へ
二万円 毛上 猪俣 島(夫 信男八三)
二万円 新中 小野田スミ子(夫市二八三)
二万円 育英奨学資金へ
五万円 須崎 荻野澄雄(妻ミチ子六九)
▽七月二十日までの御寄付を掲載
いたしました。(年齢は満年齢)